

## 現場では協力しあって気持ちよく働こう。

### [現場でのトラブルや事故を防ぐために]

- 1、指導員は、朝礼で注意事項(危険がどこにあるか、トイレの場所やタバコ、してはいけないことなど)を毎日しっかり漏れがないように伝達する。
- 2、指導員は、随時、朝礼で特掃の意味を説明し、みんなが協力しあえる雰囲気をつくる。
- 3、指導員は、自分の作業だけでなく、よりいっそう輪番者の作業や健康状態、危険がないかなどに、目配り気配りする。
- 4、事故やトラブルが起きたときは、指導員はすぐに適切な処置をし、責任者等に報告する。
- 5、現場から帰着後は、再度事情確認をおこなひ、トラブルなどの解決をはかるとともに、原因と改善策を検討する。

### [輪番者への要請]

- 1、輪番者は、指導員の指示に従ひ、他の輪番者と協力しあって仕事をしてください。
- 2、輪番者は、他の輪番者の不安全行動や体調不良、輪番者同士や第三者とのトラブルを見たときは、すぐ指導員に連絡してください。

5月、輪番労働者どうしのトラブルが現場で2件おきてしまった。1件は、特掃で刈った草を動物に与えている輪番労働者がいた。そのことを別の輪番労働者が指導員に告げたことで、指導員に注意された人(草を与えていた人)に暴力をふるわれたというものだ。(加害者の労働者は「それが理由ではない」と申告しているが、被害者の労働者はそれが理由だと思っている)。もう1件は当事者が話さないうえに理由ははっきりしないが、輪番労働者の間でトラブルになった事例だ。

1件目の件では、被害者が病院で治療を受けて休業することになった。当日も朝礼時に指導員が、「動物に草などを与えないように」との注意事項を伝えていたが、十分に伝わっていなかった可能性もある。NPO釜ヶ崎では、左記のように、あらためて現場運営の指針を明確にしたい。そして、現場で事故やトラブルなく、みんなが気持ちよく働けて、しかも仕事先や行政・市民からも信頼された特掃づくりにより、いっそう努めていきたい。これからむし暑くなり不快感が増す季節になるが、協力しあってはたらいこう。

# すこ からも かん き 少しでも体がだるい、しんどいと感じたら気をつけて！！

## とくそうりんぱんしゃ ばあい <特掃輪番者Aさんの場合>

とくそうしゅうろう ひ さぎょうかい し 30ぶん あせ こ かおいろ わる  
特掃就労の日、作業開始30分ほどで汗がふきだし、めまいがしてへたり込んでしまった。顔色も悪  
ため し どういん ひるまえ じ むしよ おく とど じぶん ある けつあつ  
い為、指導員が昼前に事務所に送り届けた。自分では歩けるが、フラつきがひどい。血圧も  
130/101 さほど高くもないが、なんと脈拍170 もあった。脈が 100 を超えると体に危険な状態な為  
きゅうきゅうはんそう きょうりんびょういん そうきゅう たいおう し だいじ いた すいじゃく はげ  
、救急搬送で杏林病院へ、早急の対応と知らせで、大事には至らなかったが、衰弱が激しいと  
しんだん にゅういん ちりょう  
診断。入院治療となった。

きせつ ひざ きび からだ すいぶん きゅうげき うば ねっちゅうしょう  
※これからの季節、日差しがよりいっそう厳しくなり、体の水分が急激に奪われます。熱中症や  
ひろう き なに しどういん なかま たす  
疲労には気をつけて何かあればすぐに指導員や仲間に助けを！！

## ねっちゅうしょう たいさく よぼう 熱中症の対策と予防を！！



### たいちょう ととの 体調を整える

すいみん ぶ そく さけ たいちょう ふあんてい あつ にっちゅう しゅうろう き  
睡眠不足やお酒などでおきる体調の不安定なときは、暑い日中での就労は気をつける。

### ふくそう ちゅうい 服装に注意

つう きせい よ ようふく き しゅうろうじ ながそで ぼうし  
通気性の良い洋服を着て、就労時には長袖、帽子をかぶろう。

### すいぶんほきゅう こまめに水分補給

かわ かん すいぶんぶそく おお  
「のどが渴いた」と感じたときには、すでにかかなりの水分不足になっていることが多い。

ていきでき すこ すいぶん ほきゅう なつば あせ いっしょ えんぶん うし しおみず  
定期的に少しずつ水分を補給しよう。夏場は汗と一緒に塩分が失われるため、塩水やスポーツドリンク  
の  
などを飲むのがオススメだ。

### ねんれい こうりよ い 年齢も考慮に入れて

たいりよくすいおとろ こうれいしゃ ねっちゅうしょう ねんれい いしき よぼう こころ たいせつ  
体力が衰えはじめた高齢者は、熱中症になりやすい。年齢を意識して、予防を心がけることが大切だ。

### あぶ かん 危ないと感じたら

げんばとう きけん かん しどういん てきせつ おうきゅうしょち しょうじょう かる  
現場等でふらつき、危険と感じたらすぐに指導員へ。すばやく適切な応急処置は症状を軽くします。